

平成 29 年 9 月 7 日
道路局 企画課

訪日外国人観光客レンタカー事故ピンポイント対策の 実験地域を選定しました

急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、ETC2.0 の急ブレーキデータ等を活用したピンポイント事故対策を講じる実験地域として、外国人のレンタカー利用の多い空港を中心とする 5 地域を選定しました。

訪日外国人観光客の増加に伴い、レンタカーを利用する訪日外国人は、2011 年から 2015 年の 5 年間で約 4 倍に増加しています。

また、レンタカー利用者全体で見ると死傷事故件数は減少しているものの、外国人レンタカー利用の死傷事故件数は増加しており、沖縄県では物損事故を含む外国人レンタカーの事故件数は 2014 年から 2016 年の 3 年間で約 3 倍に増加しています。

そこで、急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、ETC2.0 の急ブレーキデータ等を活用して外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を推進します。

今般、「地域道路経済戦略研究会」（座長 羽藤英二 東京大学大学院 教授）の意見も踏まえ、ピンポイント事故対策を講じる実験地域として以下の 5 地域を選定し、今年秋頃から順次実験を開始することとしましたので、お知らせします。

○訪日外国人観光客レンタカー事故ピンポイント対策実験地域：5 地域

- ① 新千歳空港を中心とする地域
- ② 中部国際空港を中心とする地域
- ③ 関西国際空港を中心とする地域
- ④ 福岡空港を中心とする地域
- ⑤ 那覇空港を中心とする地域

<お問合せ先>

国土交通省 道路局 企画課 篠田 宗純、河原 佳武（内線：37552、37673）
（代表）TEL：03-5253-8111（課直通）TEL：03-5253-8485 FAX：03-5253-1618

訪日外国人観光客レンタカー事故ピンポイント対策の実験実施地域の選定結果

外国人の出国が多い空港への最終アクセスにおけるレンタカー利用の状況

		外国人旅客数(人)		
			レンタカー利用(人)	利用割合
○	那覇空港	1,041,760	218,589	21.0%
○	福岡空港	1,391,364	62,051	4.5%
○	関西国際空港	4,939,060	58,303	1.2%
○	新千歳空港	910,772	41,921	4.6%
	成田国際空港	6,064,660	36,873	0.6%
○	中部国際空港	932,902	28,416	3.0%
	羽田空港	2,481,639	21,407	0.9%
	静岡空港	146,656	2,968	2.0%
	広島空港	60,050	2,224	3.7%
	小松空港	63,897	1,077	1.7%

出典：国際航空旅客動態調査(航空局)における
年間外国人旅客数上位10空港を対象とする推計値



・外国人のレンタカー利用の多い
空港がある地域
・首都圏を除く地域

で先行的に実施

今年秋頃から5地域において順次実験を開始

訪日外国人観光客 レンタカー事故ピンポイント対策

- 急増する訪日外国人観光客のレンタカー利用による事故を防止するため、レンタカー事業者や警察、観光部局と連携しながら、ETC2.0の急ブレーキデータ等を活用して、外国人特有の事故危険箇所を特定し、ピンポイント事故対策を講じる。



※沖縄・九州で試行中



ピンポイント事故対策

カラー舗装や
ピクトグラムを活用した標識



多言語注意看板

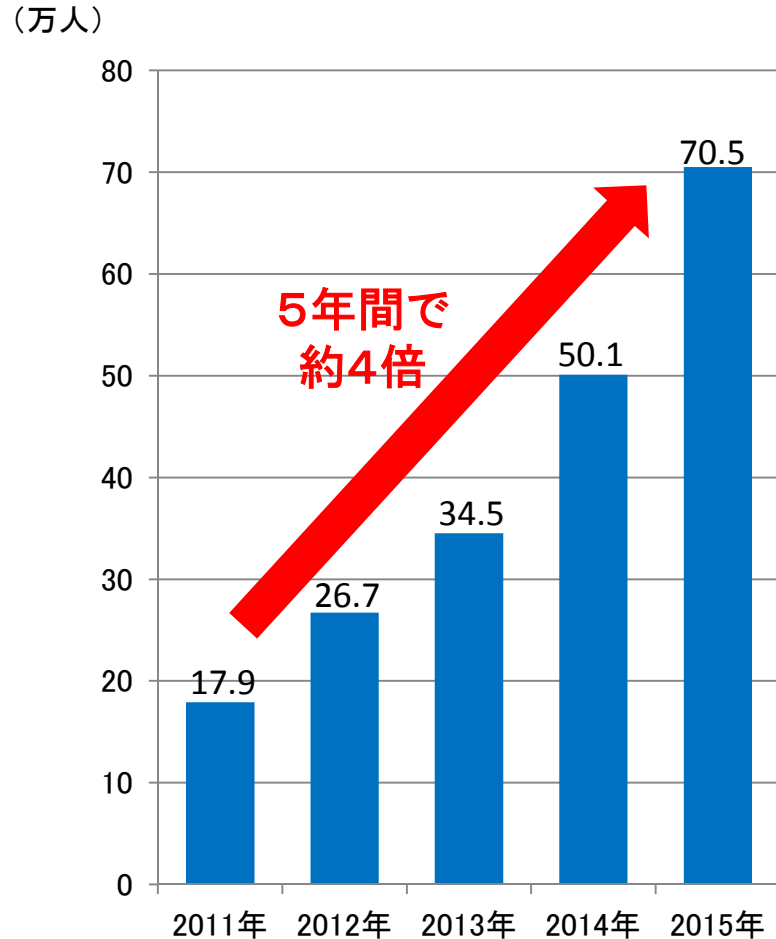


多言語パンフレット

事故の多い箇所を注意するパンフをレンタカー窓口で配布

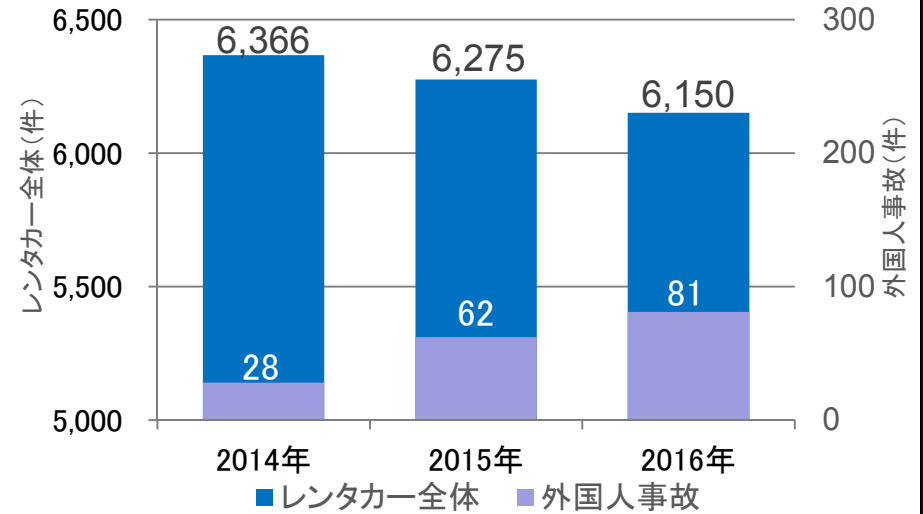
(参考) 訪日外国人のレンタカー利用と事故件数の推移

レンタカーを利用した訪日外国人の推移



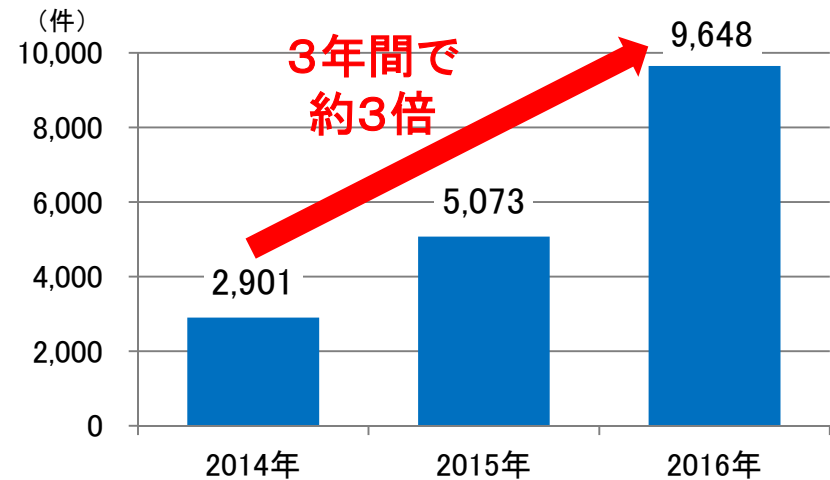
注) 国際定期便を利用して空港から出国した外国人旅客者数(推定値)
出典: 国際航空旅客動態調査(航空局)

レンタカーの死傷事故件数の推移(全国)



出典: (公財) 交通事故総合分析センター

外国人レンタカーの事故件数の推移(沖縄県)



資料: 沖縄県レンタカー協会調べ
※ 物損事故等を含む